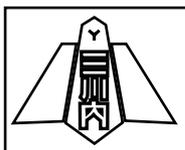


学校だより

あったか三川内



令和4年 1月27日
佐世保市立三川内小学校
校長 磯平 正敏

学校教育目標：「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。

【通学路整備完了のお知らせ】

先日お知らせしていました、木原、江永方面へ向かう通学路整備（運動場横の道路脇から階段を下りて橋を渡った所）が完了しました。この道は、大雨が降った時は、田んぼから水が溢れ出し水浸しになったり水たまりができていたりして、子どもたちの通学の際には、水に浸からないよう用心して歩かなければなりませんでした。以前から口の尾の町内会より、佐世保市の方に整備の要請をしていたと伺いました。そして、この度きれいに整備していただきました。これで子どもたちも、雨水を気にせず、登下校することができます。子どもたちの安全・安心のためにお心遣いいただき、本当にありがとうございました。



【感謝の気持ちを込めて】

年度初めに、校舎と校庭の間にある、観察池の修繕・整備をPTAのご協力を得て行いました。その池の横にある通路は、雨が降るといつも水たまりができていました。そこで、すぎな学級の中村大翔くんが、「お世話になった学校をきれいにしよう」とのめあてを立て、担任の井上先生と一緒に、池の中の枯葉を採ってきれいにしたり、周りの通路やコンクリート塀を丁寧に掃除したりしていました。誰が見ていなくとも黙々と掃除する姿に、卒後に向けて自分を高めていこうとする心意気を感じました。6年生の皆さん、卒業まであと残り2か月を切りました。三川内小学校の最高学年としての勇姿を、下級生に示して行ってください。期待し、応援しています。

【総合学習～4年生の福祉学習から～】

1月25日（火）5～6時間目を使って、4年生が福祉学習をしました。佐世保市社会福祉協議会や講師の方に来ていただき、対面での学習にしたかったのですが、コロナ禍のためオンラインでの学習となりました。講師として、視覚障がい者の牟田口先生にお話をいただきました。めあてとして「牟田口先生の生い立ちや普段の生活を聞き、視覚障がいのことを知ろう」を立て、一人一人が真剣に話を聞き、メモにとりました。

先生は、現在、針灸の先生としてお仕事をされ、福祉事業所等を回り精力的に福祉活動をされています。6歳から親元を離れ全寮制の学校で学び、40回以上の手術をされましたが、小学2年生で全盲となられたそうです。目が不自由な中でも懸命に努力され、針灸マッサージの国家試験に合格されました。「自分のことは自分です」「人間本気になればできる」と、信念と努力の大切さを教えていただきました。「目が見えない生活は大変だと思った。」「目が見えなくても、先生のように強く生きることが凄いいことだと思った。」など、4年生の心の中に、障がいがある人たちへの関心と理解が深まりました。

